



Metro
Edmonton
Japanese
Community
School

コミュニティースクールニュース 2008年2月号

THE ASSOCIATION OF METRO EDMONTON JAPANESE COMMUNITY SCHOOL
代表者 清水 聡(会長) 10636-148St, Edmonton, Edmonton, Alberta, T5N3H1 TEL: 452-6093
借用校舎 RICHARD SECORD SCHOOL 4025-117 St
URL: <http://www.ualberta.ca/~tkin/MEJCS-index.htm>

<会長からのメッセージ>

マイナス30度のエドモントンらしい寒波が通り過ぎ、暖かな日差しで降り積もった雪が解けはじめ、土や草が見え始めました。待ちに待った春の訪れを感じる季節です。この様な時には寒暖の差が激しく、体調を崩しがちですので皆様風邪などひかぬようご注意ください。

実は、今回は悲しいお知らせがあります。

先日2月13日に川島淳一さんがお亡くなりになりました。川島さんは30年前に当補習校を創始された方々のお一人で、開校当初より約10年間の間に役員、会長、校長を歴任され、エドモントン補習校の基礎を築いてくださった方です。先日も、次期校長をお願いにご自宅に伺い2時間ほどお話をしてきたのですが、その時は普段と変わらずお元気でした。もし、お元気でしたら次期校長を引き受けてくださったでしょう。補習校を代表してご冥福をお祈りします。

校長先生をはじめ、数名の先生方が今年度いっぱいでお辞めになります。皆さんご存知のように「もしもし」誌上や「U of A」などに新しい先生募集のお願いの広告をだしておりましたが、ご父兄の方々やいろいろな方から応募があり、多くの先生にあつまっていただきました。皆様のご協力に感謝いたします。

また、次期校長に関してもいままでも数名のかたにお願いに上がりましたが、良いお返事はもらえませんでした。常田先生はご事情があり、4月以降お引止めする事は出来ません。現在役員もいろいろと手配はしておりますが、余り芳しくは無いのが現状です。もし、良い案がおありの方は、お近くの役員、または僕までお知らせください。

さて、先日、お亡くなりになる前に川島さんとお話したことについて少し書いてみたいと思います。

先ほどもふれましたが、川島さんは当補習校開校当初会長、校長を歴任され、日本領事館や、海外子女財団などと交渉し、補助金や教科書などを当補習校に提供してもらうなど、現在に続く補習校の基礎を創ってくださった方です。

補習校とはどのようなところなのか、何のためにあるのか、どうするべきなのか、

話の中で伺った事を簡単に書いてみます。

補習校とはどのようなところか？

エドモントンに暮らす日系の子どもに国語を教える機関がないため、当時の方々が発起人となり、学校を始めた。もともとエドモントン補習校は帰国子女だけを対象に開校したわけではなく、現地で暮らす子供たちもはじめから対象になっていた。

このような成り立ちから、エドモントン補習校は単なる帰国子女の補習校でなく、現地に暮らす子供たちへのコミュニティースクールでもあった。

ー現在でも我が校は特殊だといわれますが、もともとの成り立ちが特殊だったわけです。

何のために補習校はあるのか？

日系の子供たちに国語を学ばせるため。

帰国子女はもとより、現地に住む日系の子供たちにも日本語、国語を学ぶ機会を与えるために、補習校はある。

ー現在でも親の願いは一緒ですね。

補習校はどのように運営してゆくべきか？

各地区の補習校で運営方法などは違うし、運営資金の調達方法もちがう、すべての学校が独自の方法で運営されている、この学校は規模も大きくはないし、日系企業の寄付も無い、独自の方法で運営してゆく道を見つけるしかない。

父兄が自覚を持って、運営、学習、行事や活動などに積極的に参加し、協力する事が大切という事だと思っています。

結局、開校以来、我々のエドモントン補習校の基本的な姿勢は変わってはいないという事です。この学校は公立の学校ではないし、もちろん日本政府が我々のために創ってくれた学校でもありません。自分たちの子供のために、自分たちで作り上げた学校なのです。30年もの間先達から受け継がれ、今、我々は、我々の世代の役目を果たし、そして、今度は次の世代に引き継いで、ちょっとずつその時代に合わせて変わりながら、これからも続いていくのでしょうか。

それには父兄の方一人一人の協力があってこそだと思います。

清水



<校長からのメッセージ1>

ここしばらく本当に厳しい寒さが続きました。それにもかかわらず、学校日にはほとんどの生徒たちが元気な姿を見せてくれ、うれしく思いました。啓蟄ももうす

ぐですから、春はそんなに遠くありません。寒さに負けず、頑張りましょう。

1、2月の教師会で、特に小学校の宿題のあり方について話し合いました。今回は、その事をお伝えします。私達は毎週生徒に宿題を配っていますが、現在、宿題をプリントとして渡すクラス、メール添付で配信をしているクラス、その両方を行っているクラスがあります。いずれにしても、生徒は、渡された宿題を家庭で済ませ、翌週教師に提出します。教師は採点后、その次の週に生徒に返します。これが本校の宿題のしくみですが、これを見直してはどうかという提案が出されました。

その理由のひとつは、生徒が採点された宿題を受け取っても、ほとんど見直していないという点です。実際に宿題を提出してから時間が経ってしまうと、生徒は問題を忘れてしまい、関心を失ってしまうというところに原因があるようです。ですから、宿題を終えたらすぐに採点をした方が、生徒は自分の間違いについて理解しやすいのではないかと私達は話し合いました。

もうひとつの見直しの理由として、宿題作りがあげられました。もともと宿題は授業で習ったことを復習するためにあります。これまで本校では、多くの教師が指導書や複数の市販ドリルを参考に、手作りの宿題を作ってきました。そのために相当の時間と労力が必要でした。このことを昨年夏の北米研修で話したところ、「教師は宿題作りよりも、授業の準備に時間を費やすべきである。宿題には教科書に沿ったドリルを使ったらよい」と、講師の先生方からアドバイスを受けました。つまり、教師は授業そのものを充実させることに力を注いだ方がよいということです。ちなみに、他の補習校では宿題に市販のドリルを使っていると聞きました。

そこで、上の二つの問題を解決するために、来年度4月から、生徒一人一人にドリル(年間1冊千円程度)を購入してもらい、これを宿題に使ってみることにしました。1冊の本にまとめられていますから毎週の宿題がバラバラになることもなく、むしろ、何ページまで進めたと生徒は達成感を味わうことができます。ドリルには答がついているので、家庭での採点は容易でしょう。子供が間違ったところはその場で指摘し、訂正させることができます。生徒の納得の仕方も早いと思います。これまでも、ほとんどの保護者の方が子供の宿題を指導されていますから、家庭で採点することに問題はないと思っています。生徒には毎週ドリルを教室に持って来てもらい、教師は生徒の得手不得手を把握するようにします。もちろん、ドリルだけでは足りない場合、音読や作文等が別途に宿題に加えられます。

保護者との協力のもとに、教師会も宿題のあり方について工夫を加えていくつもりです。そして、より充実した授業を目指して努力を重ねて参りますので、どうかこの宿題についての試みにご理解をいただきたいと思います。ご質問などありましたら、担任、または、私までお寄せください。

校長 常田いち子

<校長からのメッセージ2>

この度、家庭の事情のため、3月末をもって校長職を辞することになりました。辞任の意向は1年前に役員会に伝え、その後も、後任の校長の人選を繰り返しお願いいたしました。まだ決定していないようですが、近日常に、ふさわしい方を探してくださいと確信しております。引き継ぎをしっかりと、4月以降の授業や行事に支障がないよう努力するつもりです。今後は、別の形で本校の生徒たちのために役立ちたいと願っております。後日改めてご挨拶申し上げますが、簡単なながら、ここにご報告いたします。

校長 常田いち子



<トイレのいたずらについて>

しばらくの間、問題は治まったと思っていたのですが、最近また、男子トイレ、女子トイレ両方でドアを内側からロックしてしまうといういたずらが報告されています。これまでも「校舎を大事に使わなければならないこと、ルールは守らなければならないこと」を、お子さんに話していただくようお願いしてきました。現実に続いていますから、お母さん方、お父さん方からも再度お子さんにしっかりと伝えていただきたいと思います。リチャード・セコード校を長く借りることができるように、私達は細心の注意をしなければいけないと思います。くれぐれもよろしく願いいたします。

校長 常田いち子

<第75回全国書画展覧会の結果>

昨年9月始め、本校では、小学生以上の生徒が書写の練習をしました。岡本浩子先生のご指導のもとに、54名の生徒が作品をまとめました。これらの作品を、昨年11月に広島県熊野町で開かれた全国書画展覧会に送ったところ、このほど、その結果が届きましたので報告します。日本国内の小・中学校8716校、国外の46校から、80万近い作品の応募があったそうです。本校の生徒はたいへんよく頑張り、以下の結果を得ています。

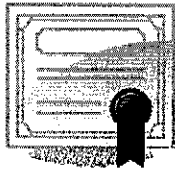
金賞 3名 小学2年 フランキウヰズ ジェシカ
金 かな
池本 ありさ

銀賞 27名

銅賞 23名
入選 1名

本校で書写をするのは、年に一回だけですが、それでもこれだけの成績を収めました。練習を重ねれば、もっと良い結果になることでしょう。今回の入賞を励みとして、生徒が書写にますます関心を持つようになって欲しいと思います。そして、書写を通して、生徒が日本文化への理解を深めていくことができるよう願っています。主催者側からの報告書「第75回全国書画展覧会」は、学校の図書に置きますので自由にご覧ください。また、送られてきた賞状は終業式の日には生徒に渡す予定です。

校長 常田いち子



<体験入学・体験入園のご案内>

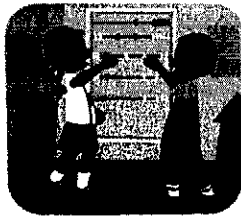
4月から子供さんの入学・入園をご希望の保護者の皆様へ

幼稚科年中、年長、小学1年の教室の様子を知ってもらうために、それぞれのクラスで、授業体験をしてもらうことにしました。関心のある方は、子供さんと一緒にご参加ください。学校のことをまだご存じない方もお誘いください。

日時：3月7日（金）6：30～7：00 pm
場所：現在プレースクールの方は年中クラス（012番教室）

年中は年長クラス（理科室）
年長は小1（004番教室）へおいでください。

校長 常田いち子



<校内弁論大会のご案内>

今年も、高学年（小6、中1、中3）の生徒による校内弁論大会が行われます。一人一人の生徒がユニークな主張を発表しますので、ぜひ、たくさんの保護者の皆様へ聞いていただきたいと思ひます。また、高学年につい

て知っていただく良い機会にもなりますので、低学年の保護者の方もお誘い合わせの上、ご出席ください。

日時：3月14日（金）6：15～8：30 pm
場所：学校体育館

校長 常田いち子



<寄付のお礼>

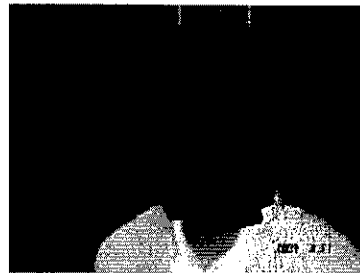
学校へ会計用ソフト（Quickbooks 2008）の寄付を頂きました。ありがとうございました。

役員会

<先生のコーナー>

9月より、本校の先生の自己紹介&クラス紹介を掲載しています。普段は、授業で教室に詰めていらっしゃるため、なかなかゆっくりお話できる機会のない先生方の生の声を聞かせていただけるコーナーです。これを機会に、休み時間にスタッフルームに先生がいらした時などに、積極的に声をかけ、お茶にお誘いしましょう。ますます保護者と先生の絆を深めていくのに役立てていただければ、と思ひます。

.....
中学三年 大場 恵子（おおば けいこ）先生

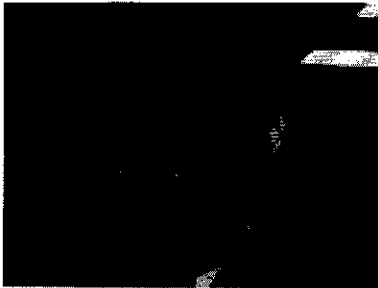


この補習校にきて3年が過ぎ、その間、中学生のクラスを担当してきました。こどもたちには、いつも「楽しんで」と言ってきました。人生「楽しんで」なければ、つまらい。「楽しんで」なければ、続かない。でも本当に「楽しい」というのは、どういふこと??? 少なくとも「楽」して得られるものではない・・・と。これからも「楽しんで、

楽しく」やっていこうと思っています。

.....

小学5年 坂口 宗(さかぐち はじめ)先生



こんにちは。今年は五年生を担当している坂口 宗(はじめ)です。早いものでもう今年度も終わりに近づいてきました。今まで、ずっと幼稚科、低学年を担当していましたが、今年は五年生ということでいろいろなことにおいて戸惑いもありましたが(まだありますが)、何とかがんばっているのも素敵な生徒とその保護者のサポート、そして前年五年生を担当していた長倉先生の助けによるところが多くとも感謝しております。

私は、昼間は高校生を相手に一日中教え、金曜日にこの日本語学校で教え、かなりと申しますが大変先生という職が好きなのですが、その最大の理由は、「教師」と言う立場を通し、いろんな立場の人たちとふれあい感銘を受けていくことができるからです。教えながらにしていろんなことを学んでいけるといったらよいでしょうか。カナダの学校であろうが、この日本語学校であろうが、生徒の考え方、ものの捕らえ方に衝撃、感動を覚えることが多々ありますし、保護者との話を通して、親としてこういうふうに(自分の子に)接することもできるのかと自分を見直すことができますし、他の先生方との話を通して、それこそプロとしてのあり方に触れることができます。そういった意味において、カナダの高校だけでなくこうやって日本語学校でがんばって行くのも大変意味があるものと考えています。

さて五年生には、二人の生徒がいます。マーカス君は、途中一人になることがありましたが、四月からずっとがんばってきました。作文、漢字などまだまだがんばるべきところはあるのですが、彼の洞察力、表現力にはよく感心させられます。一人しかいないといえばそれまでなのですが、この一年間で最も読解力等が伸びた生徒だと誇りに思っています。オーリッド君は途中入学ながら、漢字の勉強に重きを置いて一生懸命がんばっています。二人とも来

年、再来年とどのように伸びていってくれるのか本当に楽しみです。またジャクソンさんには、親として、そして、助言者としての日本語学校に対する姿勢などいろいろ勉強させていただきました。お礼を申し上げます。

先に申しましたように日本語学校では、カナダの高校ではなかなかお目にかかれない日本の教育特有の「気配りの行き届いた教育」を実践する諸先生達から、教師としてのあり方を勉強させていただいています。去年、今年とプロの教師坂口から見て(すみません、えらそうにでも一応教師歴十年以上ですから。。。)魅力的な諸先輩先生方がおやめになるのが大変残念でなりません。何よりもこの先そういう先生の授業を味わうことができない子ども達がかわいそうだなと。そういった意味においても、学年末のこの三月は、特別なものになりそうです。さらに充実した日本語学校生活を送ろうじゃありませんか! マーカス君、オーリッド君、ラストスパートだよ。全力でがんばろう!(特に漢字!作文!)

<「おめでとう!」コーナーへの投稿のお願い>



「おめでとう!コーナー」は、補習校生徒ならびに会員の学校外での活躍や業績を紹介し、称えていくコーナーです。コンテストで入賞した、所属しているスポーツチームで著しい活躍を遂げた、などなど、いいニュースを募集しています。自薦・他薦どちらでも結構ですので、渡辺までお知らせ下さい。

<ニュースレターについて>

ニュースレターへの記事の掲載をご希望の方は、担当の渡辺までご連絡下さい。投稿の締切りは毎月第三金曜日、発行は第四金曜日です。

今月は、使用フォントをゴシック体に変更してみました。PDFファイルにしたときに、明朝体だと若干薄くみえるため、試してみました。いかがでしょうか?

<3月の当番>

- | | |
|---------|--------------------|
| 2/27(水) | スワロー、川本 |
| 3/7(金) | 増田、ゾーニアク(Zorniak) |
| 3/14(金) | 井戸賀、ゾーニアク(Zorniak) |
| 3/20(木) | ザサダ、オーメッド(Omid) |
| 3/28(金) | マクレーン、徐 |

当番の変更がありましたら、お早めにダンワールドまで
お知らせ下さい(437-3457)。

スクールニュース校正
編集

ジャクソン 好子
渡辺